

領域プロジェクト名称	溶解トラップを主体とした二酸化炭素地中貯留事業に関する研究
担当教員	愛知正温
プロジェクトの狙い	地球温暖化防止のための必須技術の一つである二酸化炭素地中貯留について理解し、地中貯留の技術的側面から分離・回収・輸送の技術・コストも含めた事業全体の将来設計について考える。
プロジェクトの内容	二酸化炭素を水に溶解させた状態で地中に貯留する事業を想定して、二酸化炭素溶解水の地中における長期的な挙動の数値シミュレーションを行い、その安定性に関する地質工学的検討を行う。また、二酸化炭素排出源の種類、規模およびその分布を整理し、そこからの分離回収・輸送も含めて、全体の事業システムとして見た場合の有効性や課題についても検討を行う。
プロジェクト開催場所	工学部 9 号館 305 号室など
プロジェクト計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 二酸化炭素地中貯留のための科学技術および社会制度の現状と課題の抽出 2. 二酸化炭素溶解水の地中における長期的挙動の数値シミュレーション 3. 二酸化炭素排出源の種類、規模およびその分布に基づく分離回収・輸送コスト等の評価 4. 溶解型二酸化炭素地中貯留システムの長所と短所のとりまとめ・提言
ウェブサイト	なし（直接来訪のこと）